

平成30年度

事業報告書

(自) 平成30年4月 1日

(至) 平成31年3月31日

社会福祉法人 佐賀市社会福祉協議会

目 次

平成30年度事業概要	1 ページ
I. 社会福祉事業拠点区分	2 ページ
1 法人運営事業	
2 地域福祉活動事業	
3 共同募金配分金事業	
4 福祉サービス利用支援事業	
5 生活福祉資金貸付事業	
II. 施設経営事業拠点区分	14 ページ
1 老人福祉センター事業	
2 金立いこいの家事業	
3 松梅児童館委託事業	
III. 介護保険等事業拠点区分	16 ページ
1 居宅介護支援事業	
2 通所介護事業	
IV. その他の事業	16 ページ
1 共同募金・歳末たすけあい募金運動への協力	
2 日本赤十字社事業の推進	

平成30年度事業概要

佐賀市社会福祉協議会では、佐賀市と連携して策定した「第3期佐賀市地域福祉計画・地域福祉活動計画」（計画期間：平成28年度～平成32年度）の3つの基本目標である「みんなの主体的な活動を促す環境づくり」、「地域で安心安全な暮らしを支える体制づくり」、「福祉サービスを利用しやすい仕組みづくり」の達成を目指して、平成30年度においても地域福祉を進めるためのさまざまな事業に取り組みました。

特に、計画の重点事業である“地域で見守る体制づくりの強化”を図るために、福祉協力員の設置推進と気軽に集える新たな居場所（コミュニティカフェなど）づくりに取り組みました。

福祉協力員については、新たに361名が選任され、1,914名の福祉協力員が地域の見守り体制づくりに貢献していただきました。また、コミュニティカフェについては、新たに11ヶ所が開設され、16ヶ所のコミュニティカフェが地域の方々の新たな居場所となっています。

このような取り組みに加えて、地域における助け合い・支え合いの関係づくりを進めるために、コミュニティソーシャルワークに専念する地区担当職員4名を配置し、地域の皆さんと一緒に地域福祉課題の解決に向けた支援に努めました。また、「多機関協働による相談支援包括化推進事業」についても、引き続き佐賀市から委託を受け、市役所1階フロアに設置された「福祉まるごと相談窓口」で、2名の相談支援包括化推進員が複合的な福祉課題等を抱えた世帯や、市民等からの相談に応じ関係機関との協働による包括的な支援を行いました。

さらに、要援助者に対する権利擁護の観点から、福祉サービス利用援助事業（あんしんサポート）においては、個人の生活の質（QOL）の向上を図ることに重点を置く支援を行い、住みなれた地域で生活が送れるように努めました。また、成年後見事業（法人後見）も、年々受任ケースが増加し、後見人として身上監護を中心に被後見人等の権利を守りながら、生活の安定を図りました。

こうした取り組みや事業に併せて、平成30年7月に発生した豪雨災害に対しても市民からの義援金を募り、共同募金会、日本赤十字社を通じて支援するとともに、被災地（広島県坂町）の災害ボランティアセンターに職員2名を派遣し、被災地及び被災者への支援に努めました。

I. 社会福祉事業拠点区分（411,753,178円）

1 法人運営事業（269,243,901円）

(1) 役員会開催状況

- ① 第1回理事会 平成30年6月5日（出席11名 欠席1名 欠員1名）
 - 第1号議案 定款の一部改正について
 - 第2号議案 平成29年度事業報告並びに資金収支決算について
 - 第3号議案 理事の補充選任候補者の推薦について
 - 第4号議案 評議員の補充選任候補者の推薦について
 - 第5号議案 平成30年度定時評議員会の招集について
 - 第6号議案 苦情解決第三者委員の選任について
 - 第7号議案 評議員選任・解任委員の補充選任について
 - 第8号議案 評議員選任・解任委員会の招集について
- ② 第2回理事会 平成30年9月26日（出席11名 欠席2名）
 - 第1号議案 平成30年度第1回資金収支補正予算について
- ③ 第3回理事会 平成31年3月26日（出席11名 欠席2名）
 - 第1号議案 平成30年度第2回資金収支補正予算について
 - 第2号議案 2019年度事業計画並びに資金収支予算について
 - 第3号議案 職員就業規則の一部改正について
 - 第4号議案 職員給与規程の一部改正について

(2) 評議員会開催状況

- ① 定時評議員会 平成30年6月27日（出席22名 欠席1名）
 - 第1号議案 定款の一部改正について
 - 第2号議案 平成29年度事業報告並びに資金収支決算について
 - 第3号議案 理事の選任について

(3) 評議員選任・解任委員会開催状況

- ① 第1回評議員選任・解任委員会 平成30年6月13日（出席5名）
 - 第1号議案 評議員の補充選任について

(4) 監査状況

- ① 平成30年度事業・会計監査
平成30年5月14・15日

(5) 苦情の受付及び解決状況

苦情解決システム管理要綱に基づき、利用者等からの苦情について適切な解決を図った。
(対応件数4件)

(6) 福祉バスの運行

団体会員として登録している市内の各種福祉関係団体・サロン等が、研修・ボランティア活動等を行う際、円滑な活動ができるよう、マイクロバスの運行を行った。
運行件数：313件

(7) 実習生の受け入れ

種別	人数	実習期間	学校・事業所
社会福祉士	4名	23～24日	久留米大学、西九州大学、長崎国際大学、九州医療専門学校
介護福祉士	4名	10日間	西九州大学短期大学部
老人センター見学実習	27名	1日	佐賀県立総合看護学院

【評価・課題】

社会福祉法に定められた社会福祉法人の目的を達成するために、運営基準に則して適切な運営を行った。事業並びに運営のために必要な財源確保が課題である。

2 地域福祉活動事業 (90,603,234円)

(1) 企画・広報費 (4,050,105円)

① 社会福祉大会の開催

市内の福祉関係者が一堂に会し、今後の福祉活動推進の意識を高めるとともに、社会福祉に功勞のあった者を表彰し、講演を行い社会福祉事業の振興発展を目的に開催した。

期日：平成31年2月20日 場所：佐賀市文化会館中ホール 参加者：約700名

② 社協だより“愛・あい”並びに支所だよりの発行

社会福祉協議会の事業を広く市民に知らせ、また理解と協力を求めるため、年4回(春・夏・秋・新春号)市内全世帯及び事業所に配布した。

支所が行う事業並びに地域活動を紹介し、社会福祉協議会活動の理解や地域活動の活性化を図るため支所だよりを作成し、配布・回覧した。

③ ホームページの運用

佐賀市社会福祉協議会の事業・活動を広く市民に知らせ、また理解と協力を求めるため作成・公開した。

(2) 地域福祉活動計画策定事業 (36,686円)

「佐賀市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の第3期計画策定推進委員会を1回開催し、計画の進捗状況の把握と今後の重点事業の推進について検討及び次期計画策定スケジュールの確認を行った。

(3) ボランティアセンター事業 (2,418,275円)

市民のボランティアに対する意識高揚と参加を促進するとともに、ボランティアのコーディネート機能を強化し、ボランティアの活動基盤を整備することで活性化を図った。

① センター運営事業

・ ボランティアコーディネート機能の強化

市民からのボランティア活動に関する様々な相談に応じるとともに、ボランティア活動の活性化とニーズの把握、調整に努めた。

・ 各ボランティア連絡(推進)協議会及びボランティア団体等との連携

各ボランティア連絡(推進)協議会やボランティア団体が開催する事業・研修会・定例会等への協力・連携を図った。

・ ボランティア活動保険の活用促進

登録団体のボランティアが安心して活動に取り組めるよう、ボランティア活動中の事故に備えてボランティア活動保険に関する情報提供を行うとともに、保険加入や事故受付事務を行った。 加入受付：145団体、53名 事故申請：6件

② 助成事業

・ ボランティア活動(団体、協力校、連絡協議会等)の助成

社会福祉への理解と関心を深め、ボランティア精神を育む事を目的に学校における取り組みに対し、助成を行った。また、福祉活動の振興を図るため、佐賀市を拠点に社会福祉事業を行っているボランティア団体等に対して、活動に要する経費の一部を助成した。

助成校：8校(小学校：3校、中学校：4校、高等専修学校：1校)

ボランティア団体：39団体 ボランティア連絡[推進]協議会：7団体

③ 指導派遣事業

・ 福祉体験学習指導者派遣事業

地域、企業、学校等で開催される福祉総合学習(車椅子介助、アイマスク体験、高齢者疑似体験等)に指導者(クローバーの会)を派遣し、福祉教育の推進を図った。

種別	講座数(回)	派遣先
アイマスク	86	【学校】日新小、神野小、兵庫小、高木瀬小、鍋島小、開成小、北川副小、川上小、春日小、三瀬小、西川副小、東与賀小、佐大教育学部附属小学校、富士小、諸富南小、南川副小、嘉瀬小、新栄小、巨勢小、勸興小、致遠館中、成章中、城南中、金泉中 【企業・地域団体】佐賀銀行、NPO法人セルフ、佐賀地方裁判所、佐銀ビジネスサービス
高齢者疑似体験	88	
車椅子体験	87	
合計	261	合計 28件

④ 災害ボランティアセンター事業

発災時、市民から復旧・復興活動が求められた場合に備え、速やかに活動の拠点となる災害ボランティアセンターを立ち上げ、被災者へのボランティア支援を行えるよう体制づくりを図った。

- ・ 佐賀市総合防災訓練への参加
パネル展示や資機材の紹介を通し、被災地での災害ボランティアセンターの活動を市民に周知した。
期日：平成30年11月11日 場所：本庄公園・本庄小学校
- ・ 佐賀市災害ボランティアセンター職員研修
災害時における社会福祉協議会の役割や災害ボランティアセンターの運営について学んだ。
研修名：平成30年度佐賀市災害ボランティアセンター職員研修
期日：平成30年6月30日 場所：佐賀市保健福祉会館
- ・ 「平成30年7月豪雨災害」職員派遣（平成30年8月9日～14日）
広島県坂町災害たすけあいセンター 2名派遣その他の支援事業

⑤ 24時間テレビチャリティー募金活動等への支援

市内の福祉施設や団体、NPO法人等が行うチャリティー募金活動及び福祉車両等の寄贈申し込みの取りまとめを行った。

チャリティー募金活動

期日：平成30年8月25日・26日 参加団体：5団体 募金箱設置：13団体

(4) 高齢者ふれあいサロン事業 (23,440,000円) ※佐賀市委託

高齢者が住み慣れた地域や家庭で安心して暮らせるように、地域住民の協力により地域の様々な施設（地区公民館、集会所等）を利用し、高齢者や地域住民が気軽に集い、お互いに交流を深め、生きがいづくりや健康づくりを推進し、高齢者が閉じこもりや寝たきりにならないよう、自立生活の助長を図ることを目的に実施されるサロンに対し運営費の助成を行った。併せてサロン設立や運営の指導等を行った。

地区名	サロン数	開催数	参加者数	助成額(円)
勸興	4	41	898	300,000
循誘	15	182	3,342	1,120,000
日新	7	79	1,492	530,000
赤松	3	46	733	220,000
神野	12	125	2,983	950,000
西与賀	10	110	2,224	715,000
嘉瀬	4	46	1,031	320,000
巨勢	3	52	910	260,000
兵庫	10	116	1,637	699,061
高木瀬	9	130	3,516	780,000
北川副	12	198	3,387	950,000
本庄	8	116	2,034	590,000
鍋島	3	29	424	170,000
金立	8	231	3,332	630,000
久保泉	2	21	443	160,000
蓮池	5	52	886	370,000
新栄	9	602	8,770	800,000
若楠	3	34	685	230,000
開成	9	434	5,755	680,431
諸富	16	288	7,095	1,360,000
大和	27	618	8,277	2,130,000
富士	6	79	1,462	450,000
三瀬	6	75	1,013	410,000
川副	23	285	4,310	1,659,157
東与賀	4	41	839	310,000
久保田	11	189	2,818	830,000
合計	229	4,219	70,296	17,623,649

(5) 地域子育て支援センター事業 (11,432,660円)

子育て中の親子が気軽に集うことができる広場を身近な地域に設置し、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援した。

① 子育て親子への交流の場の提供と交流の促進

- 交流の場の提供

子育て親子が自由に利用できる交流の場を設置した。

広場名	開館 日数	乳幼児数 (延人数)	保護者数 (延人数)	ボランティア数 (延人数)
ふれあい広場 (諸富)	240	4,176	3,190	318
ふれあいるーむ (富士)	235	1,891	1,674	37
赤ちゃん広場 (ほほえみ館)	18	359	365	85
むつごろう広場 (ほほえみ館)	22	411	351	222

- 交流の促進

地域のボランティアグループの協力により、「子育てサロン」を実施し、子育て親子や地域の方との世代間交流を図った。

ひろば名	実施 回数	乳幼児数 (延人数)	保護者数 (延人数)	ボランティア数 (延人数)
ふれあい広場 (諸富)	143	1,930	2,262	373
ふれあいるーむ (富士)	82	864	916	37
赤ちゃん広場 (ほほえみ館)	11	114	112	48

② 子育て等に関する相談、援助の実施

子育てについて不安を抱えている親の相談に応じるとともに、定期的に専門家による「乳幼児育児・発育相談」や子育てに役立つ講座を実施することにより、子育て不安の解消を図った。

(単位：件)

	相談内容別					形態別			合計
	育児	就園	親の問題	家族	地域	来所	電話	その他	
基幹	352	42	41	25	1	244	0	217	461
富士	3					3			3

③ 地域の子育て関連情報の提供

子育てに関する情報や支援センターのイベント等を紹介する情報紙を発行するとともに、市報等へ各広場で実施しているサロンや行事等の情報提供を行った。また、依頼があった子育て関係講座やイベント等のチラシやポスター等を設置し、来場者へ情報提供を行った。

④ 子育て及び子育て支援に関する講習等

- 子育て講座の開催…4回連続講座を2か所で実施
- 子育て支援者研修会の開催…子育てのための知識や技能を学ぶ研修会を実施し、子育てサポーターの育成を図るとともに、サポーターの質の向上を図った。
実施回数：3回 参加数：延64名
- 子育てサークル等の育成・支援…子育てサークル等の育成支援を目的に、『サークル代表者会』を実施した。(年2回)(7サークル)
- サポーター会の実施…ふれあい広場に関わるサポーターの情報交換会として、年3回実施した。(参加者：延30名)

⑤ サークル支援の実施

地域にある子育てサークル・施設に出向き、手遊び・読み聞かせ等を行い支援した。

⑥ 家庭訪問型子育て支援『ホームスタート』事業

子育てに不安を抱えながらも相談できずに悩みを抱え、閉じこもりがちな就学前の乳幼児のいる家庭を、ボランティアが訪問し、寄り添いながら「傾聴」と「協働」を通して、親が心の安定や自信を取り戻し、虐待など深刻な問題の発生を未然に防ぐとともに、地域へと踏み出すきっかけづくりを支援するために実施した。

家庭訪問の実施状況

集計項目	
新規利用者数	41
通常終了者数	28
途中修了者数	8
保留家庭数	5
利用者数	52
子ども数	90
訪問回数	391
延訪問回数 (OG&HV)	511
登録ビジター数	36
活動ビジター数	16
登録オーガナイザー数	4

申込者の特徴	
多胎児家庭	5
多児による育児疲労	11
初産による育児不安	14
第二子誕生による育児疲労	6
第二子誕生による育児不安	2
精神的育児不安	11
身体的育児不安	1
転居家庭	1
若年母子	1

ホームスタートビジター研修会(定例会)開催…開催数：5回 参加数：延108名

⑦ 地域の子育て力を高める取組みの実施

- 地域世代間交流事業の実施【出会いの広場】…親子と地域のつながりを深め、世代間交流の中で地域ぐるみの子育て支援を推進した。

期日：平成30年5月12日 参加数：乳幼児98名、保護者113名、ボランティア等63名

- 地域ボランティア「昔遊びグループ」と連携し、広場で使えるおもちゃ(ふれあい広場号)を作成、風車・凧・紙飛行機等を作り、一緒に遊び・触れ合った。開催日：第4金曜日

⑧ 出張ひろば

市内5ヶ所に親子が共に遊び、自由に交流できる場を設置し、地域の拠点となるよう、地域の方の参加も促した。

⑨ 乳幼児一時預かり事業

- 広場での一時預かり(基幹・ほほえみ館・富士・大和)…子育て中の親が少しでもゆったりと豊かな気持ちで過ごすことができるよう、また急用時をサポートするため広場の開所時間内で乳幼児の一時預かりを行った。(年間65名受入)
- 出張託児の実施…子育て中の親が子育て講習等や各種イベントに安心して参加できるよう、開催場所に出向いて託児を行った。依頼件数：延13件

(6) 多機関協働による相談支援包括化推進事業(15,078,000円)※佐賀市委託

- 市役所福祉まるごと相談窓口相談支援包括化推進員を配置し、単独の相談支援機関だけでは対応が困難な複雑かつ複合的な課題を抱えた人や世帯の相談に応じるとともに、分野を超えた相談支援機関等のネットワークを構築し、それらの関係機関による連携した支援につなげた。

◆相談件数(各月相談件数及び連携件数) (単位：件)

相談	新規相談	調整	解決改善
552	458	94	449

◆相談者内訳 (単位：件)

本人	189
地域(親族、知人、民生委員等)	150
関係機関(地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、介護サービス事業所、障がい者相談支援事業所、障がい者計画相談所、自立相談支援機関、医療機関、警察署、弁護士、法テラス、県営住宅担当部署、保健所、市社会福祉協議会)	55
佐賀市役所(保健福祉部、子育て支援部、市民生活部、建設部、教育委員会、環境部)	64
合計	458

◆相談後の調整機関内訳 (単位：件)

本人	76
地域(親族、知人、民生委員)	62
関係機関(地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、相談事業所、障害者就労支援事業所、自立相談支援機関、地域若者サポートステーション、地域生活定着支援センター、更生保護施設、警察、法テラス、弁護士、医療機関、ひきこもり地域支援センター、マベック、すまいサポートさが、市社会福祉協議会)	144
佐賀市役所(保健福祉部、子育て支援部、市民生活部、教育委員会、建設部、農林水産部、地域振興部)	167
合計	449

◆相談支援包括化推進会議の開催

代表者会議	1回
実務担当者会議	2回
個別ケース検討会議	65回 (内主催 44回)

◆多機関協働（相談・支援の展開）に関するアンケートの実施

分野を超えた相談支援機関等のネットワーク構築の課題を整理するため、分野ごとに事業検証に必要と思われる項目（他分野との連携の必要性を感じているか、担当ケースで解決できなかった主な内容、福祉まるごと相談窓口の認識など）の調査を行った。

分野	回収数		回収率 (%)
	事業所 (ヶ所)	人数 (人)	
高齢	72	213	79
障がい	23	51	62
医療	22	91	52
子ども	14	41	53
困窮・その他	15	80	83

(7) 地域力強化推進事業 (17,086,000円) ※佐賀市委託

- ① 専任の地区担当が地域へ積極的に出向き、地域住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくりを支援した。また、把握された課題を包括的に受け止め、相談、助言、情報提供を行うとともに、必要に応じて支援機関につなぐなどにより地域課題の解決を図った。

<連携機関>

佐賀市在宅医療・介護連携支援センター、地域包括支援センター、佐賀市生活自立支援センター、佐賀中部保健所、佐賀県警、佐賀南警察署、佐賀北警察署、佐賀県難病支援センター、佐賀県立病院好生館など

個別支援ケース	初期相談	56件
	継続相談	935件
地域支援	重点事業	1,597件
	事業等支援	1,598件

(8) 地域福祉活動推進事業

- ① 本所 (15,966,348円)

- 各福祉団体助成

佐賀市における福祉活動の振興を図るため、社会福祉事業を目的とする福祉団体等の事業及び運営に要する経費に対して助成金を交付した。

◆運営費助成 (7団体) …佐賀市遺族連合会、佐賀市原爆被害者の会、佐賀市視覚障害者福祉協会、佐賀市肢体不自由児・者父母の会、佐賀市身体障害者福祉協会連合会、佐賀市母子寡婦福祉連合会、佐賀市老人クラブ連合会

◆事業助成 (2事業) …佐賀心理リハビリテーションキャンプ費 (佐賀県若楠ふたばの会)

佐賀市自治会協議会研修費 (佐賀市自治会協議会)

- 児童遊園地整備助成

市内地区自治会が児童福祉対策として、児童遊園地の新設、増設及び補修を行った場合、市とともに助成金を交付した。

校 区	設置数(件)	助成額(円)	校 区	設置数(件)	助成額(円)
西与賀	1	60,000	若 楠	1	23,900
本 庄	1	60,000	春 日	1	59,900
鍋 島	1	8,900	川 上	2	121,400
蓮 池	1	24,300	東与賀	3	198,800
			合 計	11	557,200

- 民生委員・児童委員支援事業
毎月の役員会、会長会、地区民協定例会に参加し、住民の福祉にかかわる地域福祉活動の推進を行っている民生委員児童委員の活動に対し支援・協力を行った。
- 校区社協役員研修会
地域で見守る体制づくりの強化（第3期 地域福祉計画・地域福祉活動計画）に向けて、小地域における見守り体制の在り方及び地域住民の拠点としての居場所の意義について視察・研修を行った。
期日 平成30年8月28日（火）～29日（水）
研修地 都城市社会福祉協議会（宮崎県）…身近な相談窓口の開設について
曾於市社会福祉協議会（鹿児島県）…「支えあいマップ」による支えあい体制の構築について

- 校区社協活動助成
「自分たちの地域の福祉課題は、まず自分たち自身で取り組もう。」という住民意識をもとに、小地域福祉活動を担う基礎組織として設置されている市内19校区の校区社会福祉協議会に対し支援と協力を行った。
◆校区社会福祉協議会運営費・活動費助成…各校区社会福祉協議会の運営・活動を支援するために、佐賀市と協調して助成を行った。
◆校区社会福祉協議会役員会・会長会の開催…校区社会福祉協議会相互の連携と事業の協力調整をはかり、活動の増進と支援を行った。役員会（5回）会長会（4回）

- 小地域ネットワーク推進事業
校区社協等、小地域単位組織が地域で活動している様々な組織と協働し、見守り活動やちょこっとボランティア活動の実践及び人や組織を繋ぐための話し合いの場を設け、小地域ネットワーク活動を推進するために助成を行った。19校区

- 新たな居場所づくり事業（コミュニティカフェ）
地域とのかかわりが乏しく、閉じこもりがちな生活を送っている高齢者や子育て中の親子などが、地域との繋がりや社会参加を促していくため、交流の場や気軽に集える新たな居場所づくり（コミュニティカフェ）を進めた。

	～平成29年度	平成30年度（新規）	合計
カフェ設置数	5カ所	11カ所	16カ所

- 福祉協力員等設置推進支援事業
地域の実状に応じた福祉協力員の設置に向けた取り組みについて支援を行った。

	～平成29年度	平成30年度（新規）	合計
福祉協力員数	1,553名	361名	1,914名

- 小災害罹災世帯に対する見舞
災害により罹災者が物的・精神的な援護が必要な状況において、自力更生の一時的な援助を図るため見舞金及び見舞品を支給した。

	発生件数	罹災世帯数	罹災人数	見舞金（円）
火災	2	2	4	30,000
大雨被害	1	2	12	30,000
合計	3	4	16	60,000

② 支所（1,095,160円）

	事業名	参加数	事業額（円）
諸富	地域探訪会	67	145,505
富士	出てこん場事業	529	223,562
三瀬	スマイル事業	284	198,231
東与賀	技能ボランティア養成講座	延175	104,452
	地域探訪会	22	57,334
	地域交流事業	30	28,168
久保田	地域探訪会	63	108,380
	技能ボランティア養成講座	延154	229,528
合計			1,095,160

【評価・課題】

地域において福祉活動を展開する団体等に対し、助成金を交付するなどにより、地域福祉を推進した。また、地区担当を配置し、コミュニティソーシャルワークを行う中で、住民主体による地域づくりに対する支援を継続して行った。

今後は、地区担当による地域支援を全市的に拡充して行く。

3 共同募金配分金事業 (20,138,747円)

(1) 歳末助け合い配分事業 (6,532,336円)

前年度、運動期間中(12月1日から1ヶ月間)に集まった募金を共同募金会佐賀市支会に設置した配分委員会に諮り、住民ニーズに応じた事業を展開した。

本支所	事業名	事業総額(円)	配分額(円)
本 所	年末年始地域福祉交流事業(校区社協)	3,993,000	3,993,000
	在宅高齢者会食会助成事業	600,000	600,000
	事務費	71,104	71,104
諸 富	歳末ふれあい事業(餅つき)	202,000	202,000
	障がい児サロン事業	78,000	78,000
大 和	年末年始ふれあいまつり事業助成	90,000	90,000
	高齢者ふれあい会食会助成事業	444,000	444,000
富 士	世代間ふれあい交流事業(餅つき)	123,000	123,000
三 瀬	世代間交流事業(餅つき)	43,000	43,000
	世代間交流事業(しめ縄づくり)	25,000	25,000
川 副	世代間交流事業(餅つき)	276,058	276,058
	世代間交流事業(しめ縄づくり)	145,942	145,942
東与賀	高齢者ふれあい会食会交流事業	226,800	216,000
久保田	障がい者施設クリスマス交流事業	50,000	50,000
	世代間ふれあい交流事業(しめ縄づくり)	103,246	98,146
	地域ふれあい交流事業(高齢者世帯訪問)	61,186	61,186
合計		6,532,336	6,516,436

◆年末・年始地域福祉交流事業(本所)

各校区社会福祉協議会が自らの福祉課題に応じて行う年末・年始の事業に対し、助成を行うことで、地域での特性を活かした住民同士の交流を深めることができた。

地区名	事業内容	助成額(円)
勸 興	一人暮らしの方への年賀状、まちの駅、ふれあい親子しめ縄づくり・餅つき大会、ほんげんぎょう・もぐら打ち	166,000
循 誘	ふれあいふるさと祭り、もうすぐ正月祭	210,000
日 新	高齢者と児童との交流会、しめ縄づくり、ミニミニライトファンタジー、ひとり暮らし高齢者への年賀状送付	290,000
赤 松	鯨の門コンサート、ふれあいの集い、鯨の門まつり、一人暮らし高齢者年賀状配布、餅つき大会としめ縄づくり	303,000
神 野	第9回カブト虫大会、ひとり暮らし高齢者料理教室、ふれあいサロンスタッフ研修会、ひとり暮らし高齢者交流会、ひとり暮らし高齢者クリスマスプレゼント	271,000
西与賀	一人暮らし高齢者ふれあいの集い、西与賀校区防災避難訓練、しめ縄づくり	195,000
嘉 瀬	しめ縄づくり、どようひろば、餅つき	160,000
巨 勢	グランドゴルフ大会、門松づくり、小学校昔遊び教室	110,000
兵 庫	友愛・兵庫のつどい、友愛年賀状配布	176,000
高木瀬	しめ縄づくりと豚汁の会、高齢者へのクリスマスプレゼント、三世代交流事業、こんにちは赤ちゃん訪問事業	420,000
北川副	ふれあいの集い、しめ縄づくり、高齢者スポーツ大会、友愛年賀状	281,000
本 庄	しめ縄づくり、餅つき大会	250,000

鍋 島	防災講座、独居高齢者バスハイク、餅つき大会、独居高齢者への年賀状、救急救命講座、駅伝・ジョギング大会	257,000
金 立	ふれあいの集い	114,000
久保泉	ほんげんぎょう、餅つき大会	68,000
蓮 池	しめ縄を作ろう、みんなんで昼食会	54,000
新 栄	親子ふれあいグランドゴルフ大会、年末年始交流餅つき大会	230,000
若 楠	餅つき、もぐら打ち、研修会、ほんげんぎょう、七草粥	213,000
開 成	三世代グランドゴルフ、餅つき、年賀状作成、ほんげんぎょう	225,000
合 計		3,993,000

◆在宅高齢者会食会助成（本所）【歳末助け合い配分、共同募金配分】

地域の高齢者が公民館等で会食の機会を通して、地域の見守りのための「気づき・実践の場」となることを目的に、地区社協、地区民協等が行う会食会に対し助成を行った。

地区名	実施団体	開催数	参加者数	助成額(円)
勸 興	勸興校区社協	2	210	63,000
循 誘	循誘校区社協	4	432	129,600
日 新	日新校区社協ひまわり会	4	542	162,600
嘉 瀬	せいらんボランティア	6	426	124,400
巨 勢	ボランティア巨勢	6	364	109,200
	巨勢地区民児協	1	72	21,600
兵 庫	兵庫校区社協	2	145	43,500
高木瀬	ボランティア高木瀬	1	99	29,700
	高木瀬地区民児協	1	158	47,400
北川副	ボランティア北川副	11	779	233,700
	北川副校区社協	4	1,008	282,300
本 庄	本庄校区社協	1	128	38,400
鍋 島	ボランティア鍋島	2	312	67,100
久保泉	いずみボランティア	2	232	43,000
蓮 池	蓮池校区社協	2	89	26,700
新 栄	新栄ボランティア	3	464	111,500
	新栄地区民児協	1	68	20,400
若 楠	ボランティア若楠	1	99	29,700
	若楠校区社協	1	97	29,100
開 成	開成ボランティアひまわり	4	631	155,400
合 計		59	6,355	1,768,300

(2) 共同募金配分金事業 (13,606,411円)

- ① 佐賀県共同募金会の配分委員会の議決に基づく佐賀市社会福祉協議会への配分金事業として行った。

本支所	事業名	事業額(円)	配分金充当額(円)
全 市	在宅高齢者会食会助成事業	1,180,936	908,284
本 所	校区社会福祉協議会運営費助成	5,849,504	3,949,504
	社協だより“愛あい”の発行	4,703,360	847,360
	支所だよりの発行		
	地域子育て支援センター	11,432,660	400,000
	小地域見守り体制支援事業	40,756	40,756
諸 富	地域高齢者生活支援事業	114,000	114,000
	もろどみ安心ネットワーク事業	112,000	112,000
大 和	大和まほろば広場（子育て支援事業）	1,394,659	109,000
富 士	一人暮らし高齢者見守り事業	63,504	54,104
	ふれあいチャレンジ塾	94,896	72,896
三 瀬	三瀬ふれあいチャレンジ塾	140,664	120,164
	みつせスマイルキッズと広場（子育て支援事業）	47,836	47,836

川 副	「ふくし」にふれる体験学習	15,074	15,074
	ふれあい会食会助成事業	107,000	107,000
	地域ふれあい交流事業	192,926	192,926
東与賀	よかっこ広場（子育て支援事業）	236,791	236,791
	東与賀小地域見守り活動等推進事業	11,209	11,209
久保田	ふれあい会食会(世代間交流事業)	120,439	107,239
	地域ふれあい交流事業（G B・G G）	23,333	23,333
	なかよし広場（子育て支援事業）	40,428	40,428
合計			7,509,904

② 福祉のまちづくり支援事業

申請団体	事業名	事業総額(円)	配分額(円)
久保田校区自治会長会	安心・安全なまちづくり支援事業	240,300	192,000
蓮池校区自治会長会	安心・安全なまちづくり支援事業	275,788	220,000
新栄校区自治会長会	安心・安全なまちづくり支援事業	192,000	153,000
巨勢校区自治会長会	安心・安全なまちづくり支援事業	205,914	164,000
諸富校区自治会長会	安心・安全なまちづくり支援事業	300,000	240,000
北川副地区民生委員協議会	地域福祉推進拡充事業	130,000	104,000
川上校区自治会長会	地域福祉推進拡充事業	140,454	112,000
金立校区社会福祉協議会	安心・安全なまちづくり支援事業	299,160	239,000
佐賀市社会福祉協議会	地域福祉推進拡充事業	391,976	391,976
合計		2,175,592	1,815,976

③ 自治公民館備品整備助成事業

校 区	申請団体	整備備品	事業総額(円)	配分額(円)
循 誘	東田代南自治会	椅子	37,200	29,000
日 新	京土井自治会	椅子、机	62,112	49,000
赤 松	東城内自治会	温水便座洗浄機	33,980	27,000
巨 勢	高尾団地自治会	椅子	74,400	50,000
兵 庫	堀立自治会	マイクセット	60,307	48,000
高木瀬	城北自治会	エアコン	316,000	50,000
北川副	安住団地自治会	椅子	64,070	50,000
	江上町自治会	椅子、机	127,990	50,000
本 庄	上飯盛自治会	机	58,060	46,000
	鹿子下自治会	椅子、机	51,158	40,000
鍋 島	医大東自治会	椅子	62,208	49,000
金 立	土井側自治会	椅子、机	83,868	50,000
蓮 池	牛津ヶ里自治会	椅子、机	99,900	50,000
諸 富	諸富新村自治会	椅子	85,520	50,000
	徳富二区自治会	テレビ	75,384	50,000
春 日	南小路団地自治会	エアコン	442,720	50,000
	五領自治会	机	86,313	50,000
春日北	小川一区東自治会	冷蔵庫	70,000	50,000
川 上	今古賀自治会	椅子	72,818	50,000
	サングリーン大和自治会	テレビ	66,744	50,000
松 梅	柚木自治会	机	72,360	50,000
富 士	上小副川自治会	テレビ	87,000	50,000
	下小副川自治会	机	56,700	45,000
南川副	南2区自治会	椅子	59,907	47,000
	南18区自治会	掃除機、石油ファンヒーター	74,088	50,000
久保田	横江自治会	テレビ	116,640	50,000
	町西自治会	机	60,260	48,000
配分事務費				15,120
合 計			2,557,707	1,293,120

④ みんなで支えあう福祉のまちづくり研修会

期日 平成30年9月27日

場所 アバンセ ホール

参加数 335人

- 基調講演
 「支え合う地域づくりの実現を目指して動き出す佐賀市」
 ～みんなで支え合う地域共生社会を目指して～
 講師 東北福祉大学大学院
 教授 大橋 謙策先生
- パネルディスカッション
 「支えあいの仕組みをみんなでつくる」
 西村健介（北川副地区民生委員・児童委員）、上野桂子（東高木ハッピーカフェ実行委員長）、田中喜久子（新栄校区社会福祉協議会会長）、渡邊貴志（佐賀市社協）

【評価・課題】

共同募金並びに歳末たすけあい募金配分金が、地域福祉推進団体（校区社協、民生委員・児童委員協議会、自治会、ボランティア団体等）の活動財源として活用され、地域福祉の推進につながった。

今後も、地域福祉推進団体と協議連携しながら、貴重な地域福祉推進の財源である配分金の有効活用を図って行く。

4 福祉サービス利用支援事業（25,309,379円）

① 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）（10,576,519円）

- 「福祉サービス利用者の利益の保護」を図ることを目的に、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方が安心して自立した地域生活を送れるよう、福祉サービスの利用援助等を行い支援した。

◆相談、契約・解約件数（平成31年3月末現在）（単位：件）

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
相談・問合せ	1,964	1,260	2,737	2	5,963
新規契約	8	1	10	0	19
解約	6	3	3	0	12

◆契約者数（平成31年3月末現在）（単位：人）

支所名	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計	延支援件数（件/年）
本所	34	23	23	1	81	1,457
諸富	0	1	1	1	3	40
大和	3	12	0	0	15	264
富士	1	0	0	0	1	7
三瀬	0	2	0	0	2	11
川副	9	2	6	0	17	339
東与賀	0	0	1	0	1	52
久保田	2	1	2	0	5	107
合計	49	41	33	2	125	2,277
H29年度末	47	43	26	2	118	2,218

② 法人後見事業（1,411,000円）

- 法人（成年）後見が必要と認められる人の後見人等になり、身上監護や財産管理などの生活全般を継続的かつ長期的に支援することで、被後見人等の権利擁護並びに最善の利益を図り、関係機関と連携・調整を行いながら支援を実施した。

	問い合わせ 相談件数	受任件数	類型内訳		
			後見	保佐	補助
H29年度	47件	11件	7件	3件	1件
H30年度	93件	15件 (これまでの延べ受任数20件)	10件	4件	1件

③ 移送サービス事業（159,063円）

- 既存の交通機関による移動が困難な車椅子利用の高齢者や身体障がい者を対象に、ボランティアの協力のもと、車椅子搬送仕様自動車を利用した移送サービスを提供した。（利用対象地域：三瀬村、富士町、大和町松梅地区）

利用登録者：6名 利用回数：延17回 運転ボランティア：8名

④ 松梅児童クラブ事業 (3,511,000 円) ※佐賀市委託

- 就労等のため、放課後に保護者がいない家庭の児童に対し、遊びと生活の場を提供し、児童を犯罪から守るとともに健全育成を図った。

場所：松梅児童館 開館日数：242日 利用児童数：延4,085名 (平均16.8名)

⑤ 富士町コミュニティバス運行事業 (3,286,633 円) ※佐賀市委託

- 市町村運営有償運送として佐賀市富士地区で運行するコミュニティバスについて、佐賀市からの委託を受け実施した。

運行日数

実施日数 (日)	延利用者数(名)	1回平均(名)	パス券発行枚数 (名)
193	2,461	12.8	64

- 富士地区高齢者憩いの家事業

自ら外出手段を持たない高齢者等の交通弱者に対し、外出の機会を提供することにより、閉じこもりの防止及び社会参加の促進を図り、自立した生活環境づくりを支援した。

実施日数 (日)	延利用者数(名)	1日平均(名)
193	1,616	8.4

⑥ 流水浴機器管理運営事業 (1,906,000 円) ※佐賀市委託

- 市民の健康増進と、生涯を健康で過ごせる体づくりや生活習慣病の予防を目的に、温泉水を利用した三種類 (スイムライフ、アクアビューティー、アクアファイブ) の流水浴機器を利用し実施した。利用者：延1,425名

⑦ 産業振興会館管理事業 (1,559,164 円) ※佐賀市委託

- 地場産業の振興と、市民の福祉等の向上を図る産業振興会館の管理及び会議室等の貸し出しを行った。

大集会室		情報交流室		研修室		教養室		アトリウム		合計	
件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
146	8,207	88	1,305	138	1,808	78	1,468	13	537	463	13,325

⑧ 久保田総合センター管理事業 (2,900,000 円) ※佐賀市委託

- 文化的サークル活動や健康づくり・生涯学習の拠点施設である老人福祉センター、農村環境改善センター、高齢者交流施設、保健センター (4施設) の会議室等の貸し出しや利用状況の把握等の管理業務を行うとともに、各施設の利用調整を行った。

老人福祉センター		農村環境改善センター		高齢者交流施設		保健センター		計	
件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
441	4,467	1,576	32,519	107	1,686	92	11,205	2,216	49,877

- 老人福祉センター附属施設

高齢者小規模作業所		高齢者ふれあいプラザ		計	
件数	人数	件数	人数	件数	人数
48	314	39	965	87	1,279

⑨ 佐賀市東与賀保健福祉センター管理事業

センター管理、会議室等の貸し出しや利用状況の把握等の管理業務を行った。

大広間		会議室		市民相談室・ビリヤード室		相談室	
件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
68	1,478	150	2,858	—	—	53	1,610
調理室		集団指導室		機能訓練室		計	
件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
31	1,369	150	4,585	124	3,961	576	15,861

【評価・課題】

福祉サービス利用援助事業や法人後見事業の実施により、利用者の権利擁護につなげた。事業に対するニーズは年々増加しており、引き続き、事業の拡充を図る。

5 生活福祉資金貸付事業 (6,457,917円)

① 生活福祉資金事業 (3,232,000円)

金融機関からの借入れや公的貸付制度の利用が困難な所得の少ない世帯、障がい者や介護を要する高齢者の属する世帯に対し、必要な資金の貸付けと相談援助を行った。また、貸付に結びつかなかった世帯に対して、関係機関へ繋ぐことで切れ目のない支援を行った。

対象世帯…低所得者世帯、障がい者世帯、高齢者世帯、失業中の世帯等

資金種類…生活福祉資金（総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金）

(単位：件)

	生活福祉資金	臨時特例 つなぎ資金	合計	内訳
相談等件数	178	4	182	生活福祉資金 総合5、福祉58、緊急49 教育19、不動産7、その他40
貸付件数	8	0	8	生活福祉資金 福祉費1件、緊急小口7件

貸付に至らなかったケースについては、今後の生活支援をしていくうえで関係機関等に情報提供をし連携を図った…佐賀市生活自立支援センター、地域包括支援センター、社協内地域担当(CSW)、佐賀市役所(生活福祉課・こども家庭課)他

② 福祉資金貸付事業 (3,225,917円)

- 低所得世帯の自立更生のため、他からの資金貸付が困難かつ緊急の場合に3万円を上限として貸し付けを行った。

	件数 (件)	金額 (円)
相談・問い合わせ	159	
貸付	126	3,125,209
償還	157	2,828,709

※貸付と償還の件数差は、1件の貸付に対し、最長6回までの償還回数となる場合があるため。加えて生活困窮世帯に対して食糧支援を行った。26件。46食。

【評価・課題】

生活福祉資金の貸付により、対象世帯の自立的な生活に向けた取り組みを支援した。また、必要に応じ食糧の提供を行った。社会情勢の変化に応じて貸付金額等の見直しを検討する。

II. 施設経営事業拠点区分 (95,133,161円)

1 老人福祉センター事業 (64,469,545円)

高齢者が地域で安心して、心豊かに楽しく過ごせる場所を提供するため、市内5箇所(平松、巨勢、金立、開成、大和)の老人福祉センター等を運営した。各センターでは高齢者大学、クラブ活動や季節の行事などを行い、生きがいの充足、積極的な「仲間づくり」を進めている、また健康相談を実施し、健康で明るい生活を営んでもらうための事業の推進に努めた。

① 平松老人福祉センター事業 (いきがい館平松) (20,227,753円)

◆年間の利用者数

(単位：名)

	市内	市外	合計	1日平均
男	21,562	258	21,820	
女	14,244	77	14,321	
合計	35,806	335	36,141	124.2

◆佐賀市平松清風大学(開講日：火曜日ただし8月は休み)

長寿社会の中で高齢者が積極的に学習に取り組み、生活をより充実させ、生きがいを求めて地域社会の活動に順応できる人材を育成するために開設した。

学生数 123名(1年生64名 2年生59名)

入学式 平成30年4月10日

講義 一般教養、郷土史、健康、園芸、企画学習(グループ討議、各学年ふれあい授業、自主企画授業)、1・2年生交流授業、同期生講師による講義、学生活動「文集

ひらまつ」及び「学校新聞せいふう」の発行、運動会、研修旅行
 講義数 1年生38回、2年生38回
 クラブ活動 グラウンドゴルフ、歩こう会、園芸、絵手紙、パソコン、マージャン
 卒業式 平成31年3月5日

② 巨勢老人福祉センター（いきがい館巨勢）事業（17,269,084円）※佐賀市委託

◆年間の利用者数 (単位：名)

	市内	市外	合計	1日平均
男	12,057	227	12,284	
女	11,200	499	11,699	
合計	23,257	726	23,983	82.1

◆巨勢シルバーカレッジ（開講日：原則、第1・第3木曜日ただし8月は休み）

高齢者が福祉社会をより深く認識し、より快適な暮らしを高める能力を身につけるとともに地域社会に貢献できるボランティアを育成することを目標として開設した。

学生数 48名（1年制）
 入学式 平成30年4月19日
 講義 一般教養、郷土史、健康づくり等
 講義数 22回
 修了式 平成31年3月14日

③ 開成老人福祉センター（いきがい館開成）事業（14,194,000円）※佐賀市委託

◆年間の利用者数 (単位：名)

	市内	市外	合計	1日平均
男	9,042	4	9,046	
女	4,321	4	4,325	
合計	13,363	8	13,371	45.5

④ 大和老人福祉センター事業（いきがい館大和）事業（12,778,708円）※佐賀市委託

◆年間の利用者数 (単位：名)

	市内	市外	合計	1日平均
男	1,978	0	1,978	
女	3,351	0	3,351	
合計	5,329	0	5,329	18.1

◆大和いきがい文化講座（開講日：原則、第3水曜日）

高齢者が福祉社会をより深く認識し、地域社会に貢献できる教養を身につけることを目標として開設した。

学生数 30名（1年制）
 開講式 平成30年4月18日
 講義 ヨガによる健康づくり、郷土史、救急法等
 講義数 14回
 修了式 平成31年3月20日

2 金立いこいの家事業

① 金立いこいの家（いきがい館金立）事業（12,559,665円）※佐賀市委託

◆年間利用者数 (単位：名)

	市内	市外	合計	1日平均
男	4,951	333	5,284	
女	7,719	210	7,929	
合計	12,670	543	13,213	45

◆金立いこいの家文化講座（開講日：原則として第4金曜日）

本格的な高齢化社会を迎え、健康で明るい人生を送るために、「未知との出会い」、「人とのふれあい」、「学ぶよろこび」を再発見することを目的に開設した。

学生数 42名（1年制）
 開講式 平成30年4月27日

講義	一般教養、健康づくり、園芸、郷土史等
講義数	16回
修了式	平成31年3月22日

3 松梅児童館委託事業

① 松梅児童館委託事業（18,103,951円）※佐賀市委託

- 松梅地区唯一の保育施設として、遊びを通した子どもの育成と「子育て家庭の支援」、「地域の子育て環境づくり」を柱とした事業を計画し、子どもの健やかな成長を支えた。

開館日数(日)	利用者(名)					1日平均
	館児	幼児	小学生	一般	合計	
291	4,347	1,497	713	1,637	8,194	28.2

- 保育事業
- 父母クラブ活動に関する事業
- 地域住民との交流事業

【評価・課題】

市から指定管理並びに補助を受けている事業である。適切な運営に努めることにより事業の目的は達成できている。施設の老朽化が進み管理の面で徐々に支障が生じ始めている。

III. 介護保険等事業拠点区分（31,840,881円）

1 居宅介護支援事業

介護保険法により介護認定を受けた方の心身の状況や、その置かれている環境等を把握し、関係機関と連携を図りながら、希望に応じて適切なサービスを多様な事業者から総合的かつ効率的に提供されるようケアプラン作成、要介護認定調査、介護保険サービスの調整等を行った。

① 居宅介護支援南部事業所（9,670,629円）

介護支援専門員体制 3名（常勤専従2名／兼務1名）
 要介護認定調査 12件
 ケアプラン管理者数（平成31年3月末現在）（単位：名）

介護度	人数
要介護（1～5）	61
要支援（1～2）	15

2 通所介護事業

要支援及び要介護認定を受けた高齢者が、可能な限り居宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴・食事・レクリエーション等のサービスを提供した。

① 開成デイサービスセンター事業（22,170,252円）

実施日数(日)	延利用者数(名)	1日平均(名)
255	3,326	13.0

【評価・課題】

介護保険制度改正により、厳しい運営状況が続いている。各種の地域福祉活動を展開するための貴重な自主財源確保に資する取り組みではあるが、事業の継続については検討を要する。

IV. その他の事業

1 共同募金・歳末たすけあい募金運動への協力（佐賀県共同募金会佐賀市支会）

日本で唯一法律に基づいて行われる募金活動として、公的な福祉サービスでは支えられない分野の支援を行うため、佐賀県共同募金会佐賀市支会として募金活動を展開し、集まった募金は佐賀県共同募金会に全額送金した。

(1) 赤い羽根共同募金

「あの人を、すべての人を、支えたい」をメインテーマに、10月1日から12月31日までの3ヶ月間、各種団体などの協力を得て実施した。（単位：円）

種別 本支所	戸別募金	法人募金	街頭募金	学校募金	職域(資材)	その他	合計
本 所	9,859,410	2,309,538	96,043	123,586	1,368,440	245,717	14,002,734
諸 富	987,150	673,000	0	7,725	218,756	6,212	1,892,843
大 和	2,009,825	141,500	28,906	14,370	280,380	6,643	2,481,624
富 士	323,000	372,094	0	17,464	161,720	77,388	951,666
三 瀬	136,500	108,438	44,741	4,998	48,040	1,331	344,048
川 副	1,423,100	507,000	0	33,162	71,400	18,682	2,053,344
東与賀	817,950	201,000	34,392	6,620	137,620	13,984	1,211,566
久保田	732,550	224,000	0	0	136,810	1,000	1,094,360
県共募扱	0	0	0	29,502	20,780	53,892	104,174
合 計	16,289,485	4,536,570	204,082	237,427	2,443,946	424,849	24,136,359

(2) 歳末たすけあい募金

「みんなでささえあうあったかい地域づくり」をスローガンに、12月1日から12月31日までの1ヶ月間、各種団体などの協力を得て実施し、集まった募金は佐賀県共同募金会に全額送金した。

(単位：円)

種別 本支所	戸別募金	その他	合計
本 所	4,399,999	121,834	4,521,833
諸 富	297,900	18,637	316,537
大 和	579,550	13,862	593,412
富 士	115,600	58,013	173,613
三 瀬	39,000	30,317	69,317
川 副	408,200	3,000	411,200
東与賀	233,700	1,330	235,030
久保田	209,060	26,938	235,998
合 計	6,283,009	273,931	6,556,940

2 日本赤十字社事業の推進（日本赤十字社佐賀県支部佐賀市地区）

国際救護活動や災害救護活動等の人道的使命に基づき、国内外で事業を実施している日本赤十字社の佐賀市地区として、赤十字事業の普及と事業推進に必要な資金を確保するため社員の確保に努めた。

(単位：円)

本支所	会費・寄付金	本支所	会費・寄付金
本 所	11,295,873	川 副	2,025,500
諸 富	1,350,200	東与賀	1,162,000
大 和	2,845,500	久保田	1,051,500
富 士	462,000	合 計	20,387,573
三 瀬	195,000		

(1) 各種講習会

佐賀県支部が開催する各種講習会の開催を積極的に推進するとともに、市内で行われる救急法などの講習に講師又は指導員の派遣調整を行った。

① 2018 赤十字運動月間「防災セミナー」

期日：平成30年5月24日

会場：メートプラザ佐賀

参加者：135名

② 講習への講師（指導員）派遣

救急法：2ヶ所、幼児安全法：4ヶ所、防災セミナー1ヶ所

(2) 防災・減災活動等への取り組みに対する助成

校区自治会及び自主防災組織等が、防災・減災意識の高揚を目的に実施する防災・減災活動及び研修会、講習会等に対して助成金を交付し、地域における日本赤十字社活動の普及と誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進を図った。

助成金交付：2校区

(3) 災害義援金の募集・受付

各地で発生した災害などに対し義援金の募集及び受付を行い、集まった義援金は日本赤十字社佐賀県支部を通じて被災地へ送金した。

「平成28年熊本地震災害義援金」 137,776円

「東日本大震災義援金」 1,000円

「平成29年7月5日からの大雨災害義援金」 87,923円

「平成30年大阪府北部地震災害義援金」 12,432円

「平成30年7月豪雨災害義援金」 603,109円

「平成30年米原市竜巻災害義援金」 112円

「平成30年北海道胆振東部地震災害義援金」 208,112円

(4) 火事等の罹災世帯への援助

市民で災害により罹災者が物的・精神的な援護を必要とする場合、見舞金や毛布、日用品等の物資を支給することで、自力更生を支援した。

【評価・課題】

共同募金、赤十字の両事業ともに、佐賀市の事務局を社会福祉協議会が併せ持つて取り組んでいる。
両事業ともに、地域福祉の推進と地域の安全安心につながる事業であるため、継続して取り組む必要がある。